

つながれ、笑顔の輪。



# キラリ ふくしま 介護賞

受賞者紹介

「キラリふくしま介護賞」は、他の介護職員や、これから介護の仕事を目指す学生等の目標や憧れとなるような働き方をしている中堅の介護職員を表彰するものです。

施設表彰においては、労働環境・処遇改善について優れた取組を行っている施設・事業所を表彰するものです。

主催：福島県

## 第2回キラリふくしま介護賞受賞者・受賞施設一覧

### 介護職員表彰

ページ	名前	施設名(市町村)
3	大谷 浩一	特別養護老人ホームしょうぶ苑(喜多方市)
4	佐藤 美咲	リブレ松川24時間訪問介護看護事業所(福島市)
5	若松 祐樹	介護老人保健施設南東北春日リハビリテーション・ケアセンター(須賀川市)
6	菅野 朱美	リブレ松川看護小規模多機能型居宅介護事業所(福島市)
7	渡辺 翔太	特別養護老人ホーム会津みどりホーム(会津若松市)
8	大竹 真里	特別養護老人ホームさぎそう(浅川町)
9	五十嵐 嘉洋	特別養護老人ホームけいわ苑(喜多方市)
10	高田 瞳	特別養護老人ホーム南東北ロイヤルライフ館(郡山市)
11	遠藤 侑衣	地域密着型特別養護老人ホームうねめの里はるひめ(郡山市)
12	増子 和孝	養護老人ホーム希望ヶ丘ホーム(郡山市)
13	柳沼 裕子	指定通所介護ライフサポートセンター家楽～郡山～(郡山市)
14	大山 花茄	特別養護老人ホーム光の森の丘(郡山市)
15	松崎 拓真	特別養護老人ホームロング・ライフ(福島市)
16	川前 善志	介護老人保健施設光の森(郡山市)
17	小澤 早央里	介護老人保健施設小名浜ときわ苑(いわき市)
18	大矢 宇香	特別養護老人ホーム福寿園(南相馬市)
19	溝井 孝恵	つくしデイサービス紡(須賀川市)
20	熊田 奈央	健康倶楽部郡山小規模多機能型居宅介護事業所「エスポワール」(郡山市)
21	斎藤 誠司	地域密着型特別養護老人ホーム国見の杜(国見町)
22	石井 清孝	特別養護老人ホーム船引こぶし荘(田村市)
23	雅楽川 貴志	グループホーム西会津しょうぶ苑桐(西会津町)
24	生江 駿	特別養護老人ホーム桐寿苑(三島町)
25	東城 有紗	短期入居生活介護国見の里(国見町)
26	村上 絵美	特別養護老人ホーム国見の里(国見町)
27	高野 由美子	通所介護元気サポート笹谷(福島市)
28	木幡 真衣	ケアハウス星風苑(伊達市)
29	富永 涼	特別養護老人ホームあづまの郷(福島市)
30	佐藤 淳一	認知症対応型共同生活介護ロング・ライフ フクチャンち(福島市)
31	高橋 莉子	健康倶楽部郡山小規模多機能型居宅介護事業所「アルコート並木」(郡山市)
32	阿部 美祈	有料老人ホーム感謝の郷いわき(いわき市)

※順不同、敬称略

### 介護施設表彰

ページ	施設名(市町村)
35、36	特別養護老人ホームしょうぶ苑(喜多方市)
37、38	複合施設なでしこ川俣(川俣町)
39、40	認知症対応型共同生活介護 ロング・ライフ フクチャンち(福島市)
41、42	特別養護老人ホームユアアイホーム(矢祭町)
43、44	認知症対応型共同生活介護リブレ松川(福島市)
ページ	
33	キラリふくしま介護賞とは
45、46	授賞式の様子



キラリ  
ふくしま  
介護賞

介護職員表彰



受賞者30名をご紹介します。

※写真は各施設より提供されたものを掲載しており、令和元年以前に撮影されたものも含まれます。



一人一人に寄り添い支える中で、  
楽しく穏やかな毎日を実現！



### 大谷さんのキラリな毎日

大谷さんは、他職の経験を経て、介護の道へ入ってきました。資格の取得にも意欲的で介護福祉士試験に合格し、更なるスキルアップを目指し、現在は社会福祉士受験資格取得に向け日々努力を重ねています。ユニットリーダーになってからは、同僚や若い職員と一丸となり利用者さんのそれぞれに合った「穏やかに楽しい毎日をご過ごしていただく」を目標に精進しています。(上司 齋藤己義さんより)

◆ おおたに こういち  
大谷 浩一さん

特別養護老人ホーム

しょうぶ苑

(喜多方市)


◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ

おばあちゃん子で介護に興味があり、実務者研修を取得できる養成講座を受講しました。その時に見学した今の職場のアットホームな雰囲気、決め手となり、介護の仕事を選びました。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

利用者さん一人一人の思いを尊重し、寄り添い支えること。相手の立場に立って、介護を行うことを心がけています。また、本人の能力に応じて、自立した日常生活の援助をさせていただいております。

大谷さんのプロフィール



好きな食べ物：蕎麦  
趣味：飼う猫の世話  
休日の過ごし方：買い物やドライブ

◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

介護の仕事は大変なことばかりではなく、楽しいことや学べることもたくさんあります。人手不足と言われている業界ですが、キャリアアップの整備により、資格の取得や専門的なスキルを身に付けることができ、長く働くことができる業界です。また、人生経験が役立つ部分が多い職種です。皆さんの経験をぜひ介護の道で活かしてみましょ。







安心して話していただけるように  
利用者さんに寄り添い、明るい笑顔で介護！

### 佐藤さんのキラリな毎日

佐藤さんは、持ち前の明るい笑顔で日々の訪問の仕事に取り組まれています。利用者さんからも、心穏やかに安心した生活を送れていると、嬉しい評価をいただいています。高校卒業後介護の仕事に就いて6年が経ち、レクリエーションや行事も自らが計画を立て率先して実行しています。介護福祉士国家資格を活かしながらチームの中心として活躍しています。(上司 古田亮一さんより)

◆ 佐藤 美咲さん  
さとう みさき

リブレ松川

24時間訪問介護看護事業所  
(福島市)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ

中学生の頃に、祖母が老人ホームに入居したことがきっかけです。笑顔で接する職員と楽しく話す祖母を見て、単に介護するだけではなく、笑顔を引き出す素晴らしい職業だと感じたからです。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

利用者さんから「話しやすくて良かった。安心した」と思っていたできるように明るい笑顔で接しています。また相手の立場に立ってしっかりと傾聴し、困っていることがあれば思いに沿う支援を心がけています。



◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ  
これまでの経験と学びを活かし、もっと福祉・介護に関する知識や経験を積んで成長したいと思っています。介護は、利用者さんが自分らしい生活を送れるように手助けを行い、支えることができる、やりがいを感じられる専門職です。また、ご家族や利用者さんに「生きがい」を持っていただき、幸せな生活を送れるようにお手伝いできる素晴らしい仕事です。

佐藤さんの  
プロフィール



好きな食べ物：うどん

趣味：ドライブ

休日の過ごし方：音楽鑑賞

誰にでも優しく接してフロアを明るくし、  
場を和ませる介護でみんなを笑顔にする！



### 若松さんのキラリな毎日

若松さんは、利用者さんにはもちろん誰に対しても分け隔てなく優しく接しています。出勤した彼が声をかけると利用者さんはみんな笑顔で応え、フロアの雰囲気が一瞬と明るく和みます。新婚で今年3月にはパパになる若松さんはプライベートもますます充実。“イクメン”として仕事と家庭の両立を目指し奮闘する彼を、職場のみんなまで応援していきます。(上司 古内友幸さんより)

◆ わかまつ ゆうき  
**若松 祐樹さん**

介護老人保健施設

南東北春日リハビリ

テーション・ケアセンター

(須賀川市)

◆ **介護の道に進んだ理由・きっかけ**

高校生の頃に老人ホームへボランティアに行っただのがきっかけです。そこで初めて介護の現場を目の当たりにして、自分も誰かの役に立つ仕事が出来たいと思い介護の道に進みました。

◆ **利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

利用者さんと関わる際は、相手の話を耳を傾けることを意識して関わっています。特に認知症や失語のある方は様々な訴えがあり、その方の想いをくみ取ることができるよう関わっています。

◆ **今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**

現在、排泄と口腔ケア委員会に属しており、ケアの質の向上に努めています。これからも委員会活動を通して、よりよいケアを提供できるように尽力していきたいです。介護の仕事は大変なイメージがありますが、しかし、利用者さんから「あなたがいると安心する」といった感謝の言葉をかけてもらえることが嬉しく、やりがいのある素晴らしい仕事です。

**若松さんのプロフィール**

好きな食べ物：ラーメン  
趣味：スノーボード  
休日の過ごし方：ドライブ







人の人生に大きく関わるやりがいを  
感じながら、お互いの信頼関係を構築！

### 菅野さんのキラリな毎日

菅野さんは、父親の死をきっかけに、改めて人の人生や命の尊さを強く感じ、人の人生に携わる仕事をしたいという思いから介護の道を志しました。入職後、様々な経験を積み、介護福祉士国家試験にも合格しました。現在は、介護サブリーダーとして、事業所内の連携や自己研鑽に取り組み、上司・部下からの信頼も厚く、利用者さんからも頼られる存在です。(上司 高橋徹さんより)

◆ 菅野 朱美さん  
かんの あけみ

◆ リブレ松川看護小規模  
多機能型居宅介護事業所  
(福島市)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ  
スポーツトレーナーの専門学校卒業後、高齢者の運動指導の仕事をしていく中で、父親の死をきっかけに、地元で介護の仕事をしたいとの思いが強くなり、現在の仕事を選びました。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切に  
つとめること

法人理念の「利用者様の声なき声に耳を傾け、信頼されるパートナーを目指します」を意識し、利用者さんとの信頼関係の構築を大切にしていきます。利用者さんが望む支援の提供を心がけています。



◆ 今後の目標や介護の道を目指す  
方へのメッセージ  
事業所のサブリーダーとして、他職員と共に協力・成長していきたいながら、利用者さんが望む生活の実現に向けて、率先して行動していきたいと思えます。介護職は、人の人生や生命に大きく影響を与える仕事です。そのため、やりがいを実感できる場面や人に感謝される機会が多くある素晴らしい仕事です。

菅野さんの  
プロフィール



好きな食べ物：コカ・コーラ

好きな芸能人：関ジャニ∞

休日の過ごし方：YouTube



幼少期からの思い出を胸に、利用者さんの  
毎日を楽しく快適にするお手伝い！



### 渡辺さんのキラリな毎日

渡辺さんは、何事にも前向きに取り組む好青年です。責任感も強く、社交性にも優れているため、利用者さんや職員からの人望も厚いです。当施設において、グループリーダーやプリセプター、各委員会でも中心となり多方面で活躍していただいています。(上司 菊地一幸さんより)

◆ わたなべ しょうた  
**渡辺 翔太さん**

特別養護老人ホーム

会津みどりホーム

(会津若松市)


◆ **介護の道に進んだ理由・きっかけ**

両親の共働きにより、幼少期から祖父母と過ごす時間が多かったことと母の職場である介護施設の夏祭りに参加した際に様々な高齢者の方と触れ合い、楽しかった思い出があったからです。

◆ **利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

日頃からお話を傾聴し利用者さんの性格や生活歴をしっかり把握すること。また、利用者さん一人一人のニーズにできる限り寄り添い、生きがいを感じながら快適な毎日を送れるよう生活のお手伝いをすることです。

渡辺さんの  
プロフィール



好きな食べ物：ステーキ  
趣味：ネットサーフィン  
休日の過ごし方：妻と過ごす

◆ **今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**

一人でも多くの利用者さんの笑顔を引き出せるよう、その方の意向に寄り添っていきたいと思います。また、現状の自分に満足せず、何事にも向上心を持って取り組んでいきたいと思えます。介護の仕事は大変なイメージがあるかもしれませんが、それ以上に喜びも多く、利用者さんの人生に関わることができる素晴らしい仕事だと思えます。



利用者さんの笑顔を引き出すコミュニケーション能力。  
チームリーダーとしても成長中！



### 大竹さんのキラリな毎日

大竹さんは、いつも優しい笑顔で利用者さんの思いに寄り添い、利用者さんの笑顔を引き出してくれます。委員会活動では気付きを伝え、他職種と連携を進める行動力があります。また当法人が実施している今年度の中堅職員研修メンバーに選出され、チームリーダーとしての役割について学び実践しています。今後もスキルアップを図りさらなる活躍を期待します。(上司 早坂香里さんより)

おおたけ まり  
**大竹 真里さん**

特別養護老人ホーム

さざんか

(浅川町)

#### ◆介護の道に進んだ理由・きっかけ

地元の先輩や近所の方など身近に介護施設で働いている人が多くおり、話を聞いている中で自然と福祉に興味を持ち、大好きな祖父母にいつか恩返しがしたいと思ったからです。

#### ◆利用者さんと関わるうえで大切にしていること

「笑顔」と「積極的にコミュニケーションを図ること」です。利用者さんの笑顔や発語を引き出せたり、できなかったことができるようになったりすることが、自分自身のやりがいに繋がっています。

大竹さんのプロフィール



好きな食べ物：炭水化物全般  
趣味：カフェ巡り  
休日の過ごし方：ドライブ

#### ◆今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

利用者さんの笑顔をいかに引き出すことができるかを念頭に、これからも笑顔で努めていきたいです。またスキルアップのため積極的に学び、上司のようなスペシャリストを目指すとともに、目標とされる存在になりたいです。初めは不安かもしれませんが、利用者さんとの関わりを通して信頼関係が深まると、やりがいも得られます。一緒に働いてみませんか？





新入職員にはレベルに合わせた指導・助言を行い、  
介護副主任として他の職員の模範として活躍。



五十嵐さんのキラリな毎日

五十嵐さんは、介護職員として、一步一步、確実に成長を遂げています。「話を聞いてほしい、傍にいてほしい」という利用者さんの視線を感じ、温かく大きな手を差し伸べています。利用者さんは、安心という気持ちでその温かさを受け取っています。また、副主任として驕らず、諦めず、根気強く職員の話聞き気持ちを支えています。利用者さん、職員、皆が頼れる副主任です。(上司 星ちいみさんより)

い が ら し  
**五十嵐** よ し ひ ろ  
嘉 洋 さ ん

特別養護老人ホーム

けい わ 苑

(喜多方市)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ

大学の専攻は福祉や介護関係ではありませんでした。どの職業に就くのかを模索していたときに、自分とは祖父母と関わるのが好きだったというのを思い出し、介護の世界に飛び込みました。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

一人一人の利用者さんをしっかりと観察し、その方の能力を最大限生かせるような介助方法、環境設定を意識しています。ケア内容もその都度見直しをし、より良いケアの提供を大切にしています。

五十嵐さんの  
プロフィール



好きな食べ物：ラーメン  
趣味：読書  
休日の過ごし方：子どもと遊ぶこと

◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

「ありがとう」の言葉が一番やりがいを感じる瞬間です。介護の仕事は大変やきついというイメージがありますが、それ以上に感動や嬉しい気持ち味わえる仕事です。若い方やどの職業に就くか迷っている方にもどんどん介護の仕事をしてもらいたいと思います。それだけ介護の仕事に誇りを持っていますし、自信を持って介護の仕事をお勧めします。







利用者さんへの言葉遣いが丁寧で、他の職員の模範となるケアを実践。

### 高田さんのキラリな毎日

高田さんは、丁寧な言葉遣いと優しい声かけをされていて、利用者さんは安心して生活することができます。家族からの信頼も厚く、職員へさりげなく声をかけ、良き先輩として頼られています。利用者さん本位のケアの実現のために、施設全体を巻き込みながら「すべては利用者さんのために」の理念のもと、チームの推進役として活躍しています。(上司 梨本瞬さんより)

たかだ  
**高田** ひとみ  
瞳さん

特別養護老人ホーム  
南東北ロイヤルライフ館  
(郡山市)


#### ◆介護の道に進んだ理由・きっかけ

私の祖父が介護施設に入所していたことがあり、施設の職員さんが見ても優しく接している姿を見て、私も人の役に立つ仕事がしたいと思い福祉の仕事を選びました。

#### ◆利用者さんと関わるうえで大切にしていること

私が大切にしていることは「笑顔」です。職員が笑顔で挨拶や会話をすれば、信頼関係を築く第一歩につながります。常に思いやりを持って接し、安心して生活できる環境を提供していきたいです。

**高田さんのプロフィール**



好きな食べ物：お寿司  
好きな芸能人：嵐  
休日の過ごし方：ショッピング

#### ◆今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

大変なこともたくさんありますが「ありがとう」と感謝の言葉をいただくことも多く、私自身も毎日元気をもらっています。今後も利用者さんに最適な支援ができるよう気持ちに寄り添った介護を心がけていきたいです。介護の仕事に興味のある方は、ぜひやりがいや楽しさを感じることができると介護の道に進み、充実した日々を過ごしてほしいと思います。



「ありがとう」「お互い様」が行き交う職場で、笑顔の橋渡しをする中心的存在。



### 遠藤さんのキラリな毎日

遠藤さんは、誰にでも明るく声かけし、特に新人職員と積極的にコミュニケーションをとり、どんな悩みに対しても丁寧に対応し、「ありがとう」「お互い様」が行き交う職場の中心となっています。また、サブリーダーとしてリーダーとユニット職員の意見の調整を行い、常にユニットが円滑に運営できるように自主的に考えてくれる、なくてはならない存在です。(上司 六角圭一さんより)

えんどう  
遠藤 侑衣さん

地域密着型特別養護老人ホーム  
うねめの里はるひめ  
(郡山市)

#### ◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ

将来は、人の役に立てる仕事をしたいと考え、中学生の頃から介護の仕事を目指すようになりました。入職後は初めての社会人として苦労もありましたが、先輩職員や入居者様に支えられながら充実した日々を送っています。

#### ◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

「うねめの里はるひめ」を選んでいただいたことに感謝の気持ちで接しています。「その方らしさ」を大切に、人生に寄り添うことで入居者様が安心した暮らしを送れるように関わりを持っています。

**遠藤さんのプロフィール**



好きな食べ物：うどん  
趣味：電子マンガを読む  
休日の過ごし方：YouTubeやライブDVDを観る

#### ◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

介護の仕事は入居者様の人生に関わり最期を共にする、とてもやりがいのある素敵な職業だと思います。私はうねめの里はるひめで働き、多くのことを経験し学ぶことができました。後輩の育成に携わる際には自分の感じたことや経験を活かしていきたいです。今後も入居者様の人生が豊かになるように支援させていただきたいと思えます。







利用者さんの言動や感情を受け止める。  
 全ては利用者さんがいきいきと生活するために。

増子さんのキラリな毎日

増子さんは、大変温厚で、優しく、利用者さんの悩みや相談事に真摯に耳を傾け寄り添っており、その姿は、模範であり、利用者さんから絶大なる信頼を得ております。利用者さんには、常に笑顔で話しかけ、言葉遣いや対応も大変丁寧で、誠実な人柄は、職場の先輩や後輩、同僚からも、そして利用者さんのご家族からも信頼がとて厚く、法人・施設になくてはならない存在です。(上司 佐藤正博さんより)

増子 和孝さん  
ましこ かずたか

養護老人ホーム  
 希望ヶ丘ホーム  
(郡山市)

◆**介護の道に進んだ理由・きっかけ**  
 家族が病気になる、まだ先のことだと思っていた介護を身近な問題として考えるようになりました。その中で介護の重要性を感じ、私自身も働きたい・役に立ちたいと考えたのがきっかけでした。

◆**利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

利用者さんに安心感を持っていたくために、その方の言動や感情をありのままに受け止め、話を伺い、「何らかの理由があって行動している」という視点を大切にしています。



増子さんのプロフィール



好きな食べ物：オムライス  
 趣味：読書  
 休日の過ごし方：テレビ鑑賞

◆**今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**  
 利用者さんに自分らしくいきいきと生活していただくために、介護技術や専門知識の習得に努めていきたいと思えます。介護という仕事は大変なことがたくさんありますが、それ以上にやりがいや達成感を感じることが出来る素晴らしい仕事だと思います。



すべては、利用者さんに楽しんでもらうために。  
ユーモアを発揮してサービス精神で接する！



### 柳沼さんのキラリな毎日

柳沼さんは、日々の業務をしながら実務者研修を受講し、自己学習で介護福祉士国家資格を取得した努力家です。彼女のモットーは「利用者さんに楽しんでいただくこと！」その想いの通りに、持ち前のユーモアのセンスと大いなるサービス精神で、彼女の周りは笑顔と笑い声で溢れています。今回の受賞は、まさにピッタリで私たちも誇らしく思います。(同僚 大平光恵さんより)

◆ やぎぬま ゆうこ  
柳沼 裕子さん

指定通所介護

ライフサポートセンター

家楽く郡山く

(郡山市)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ  
病気で療養しているとき、仕事を探しはじめました。そのとき友人から「こんな仕事あるよ」と介護の仕事に誘われました。少しでも利用者さんの力になればと思い、この仕事を始めました。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

デイサービスに来て楽しかったと思ってもらえること。これを一番大切にし、お話しやすい雰囲気作りを心がけています。デイサービスが利用者さんのよりどころとなれるよう取り組んでいます。

柳沼さんのプロフィール



好きな食べ物：リンゴ  
好きな芸能人：藤井 風  
休日の過ごし方：のんびり過ごす

◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

今現在の目標は認知症の方に対する理解を深め介護の質を上げるために、利用者さんを理解し笑顔で寄り添い冷静な目線で観察し支援できるようになることです。利用者さんと心の距離が近づいたときに介護のやりがいや楽しさを感じることができそうです。ぜひ一緒に介護士として働いてみませんか？みなさんのご応募お待ちしております！





誰に対しても優しく笑顔で向き合おう。  
 いるだけで安心感を与えるプリセプター！

大山さんのキラリな毎日

大山さんは、利用者さんはじめ誰に対しても優しく笑顔で誠実に向き合っています。大山さんがいるだけで安心感が生まれ、施設全体が明るい雰囲気になります。また、仕事において人一倍率先して行動し、周りの職員からの信頼も厚く、働きやすい雰囲気をつくってくれます。働きながら、介護福祉士国家資格も取得し、現在はプリセプターとして新人職員の目線に合わせた指導を行っています。(上司 本田綾さんより)

おおよま はるか  
**大山 花茹さん**

特別養護老人ホーム  
 光の森の丘  
 (郡山市)

◆**介護の道に進んだ理由・きっかけ**

母が介護の仕事をしており、曾祖母の世話をしている姿を見て介護の仕事に興味を持ちました。元々お年寄りが好きで地域や福祉に貢献したいという思いを持っていたので、介護の道に進みました。

◆**利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

信頼関係を築くためにもコミュニケーションを大切にしています。施設で最期を迎える方がほとんどなので利用者さんが安心して生活できるように関わりを多く持っていきたいと思っています。



◆**今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**

今後は認知症の症状や対応の仕方を先輩方から学び、知識を深めていきたいと思っています。嬉しいだけでなく、時には辛い場面がありますが、何より利用者さんから「ありがとう」と感謝されると本当に嬉しく、介護の仕事をやっていることがよかったなと思います。とてもやりがいのある仕事なので介護士を目指す方、一緒に頑張っていきましょう。

大山さんの  
 プロフィール



好きな食べ物：ラーメン

趣味：買い物

休日の過ごし方：テレビ鑑賞



自らの意見と他者のアドバイスを活かし、  
チームワーク向上に貢献。



### 松崎さんのキラリな毎日

松崎さんは、真面目で優しい人柄で周りからの信頼が厚く、丁寧な関わりで利用者さんにも安心感を与えています。報告・連絡・相談を大切に、常に最善の方法を模索して、事業所内の中心的存在として尽力されています。令和3年度からは介護副長となり、さらに今後の活躍が期待されます。

(上司 香野智美さんより)

◆ まつざき たくま  
**松崎 拓真さん**

特別養護老人ホーム

ロング・ライフ

(福島市)


◆ **介護の道に進んだ理由・きっかけ**

私は祖父が大好きでその祖父が施設に入り職員の方に最期までケアしていただき、とても感謝しています。私もその職員の方のように、利用者さんのケアをしたいと思い介護の道を選びました。

◆ **利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

施設は利用者さんにとって家同然だと思っています。その中で生活されていますので、日々、安心・安全に生活していただけるように心がけています。

松崎さんの  
プロフィール



好きな食べ物：お寿司、ラーメン  
趣味：映画鑑賞  
休日の過ごし方：ドライブ、買い物

◆ **今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**

介護は大変な仕事ではありますが大変なことだけではなく、その分やりがいもある仕事だと思っています。日々ケアをさせていただく中で利用者さんから「ありがとう」と言っていたいた時はとても嬉しいですし、やりがいを感じる瞬間でもあります。介護はともやがいを感ずる仕事ですので、一緒に介護の仕事を楽しみましょう。







利用者さんの気持ちをおくみとり接する。周りを笑顔にして明るい雰囲気にし！

### 川前さんのキラリな毎日

川前さんは、介護という仕事が本当に大好きなのだと感じています。いつも笑顔で彼の周りは明るい雰囲気になっています。利用者さんからも彼の名前が出る事が多く、とても信頼が厚いです。仕事においてもいつも真面目で、一つ一つの事を丁寧に取り組んでいます。当施設での経験を活かして資格取得にも意欲的に取り組み、合格しています。(上司 高田志保さんより)

かわまえ よしゆき  
**川前 善志さん**

介護老人保健施設

光の森

(郡山市)

#### ◆介護の道に進んだ理由・きっかけ

両親が共働きで、幼少の頃より祖父母と一緒に生活。そんな大好きな祖父母も介護が必要な年齢となり、技術や知識を身につけ、少しでも力になりたいと思ったことがきっかけです。

#### ◆利用者さんと関わるうえで大切にしていること

利用者さんは好んで今の状態になったのではなく、大変な思いをされていると思います。利用者さんの気持ちをおくみとり、私より長い人生を歩んでこられた大先輩として敬意を払い、接しています。



◆今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ  
 介護には、正解がなく様々な事例があります。そのため、より良い介護ができるよう日々学び利用者さんに少しでも「楽しい」「安心」と思っていただけのようなケアの提供を目指しています。介護職は利用者さんやそのご家族から「ありがとう」と感謝の言葉をいただける、大変やりがいのある職業です。皆さん楽しく一緒に頑張りましょう。

川前さんの  
 プロフィール



好きな食べ物：チーズケーキ

好きな芸能人：大泉 洋

休日の過ごし方：子どもと運動

コミュニケーションを図りながら  
常に利用者さんを第一に考え介護を行う。



小澤さんのキラリな毎日

小澤さんは、いつも笑顔で明るく利用者さんに接しています。どんな些細なことでも利用者さんとして向き合い親身になって対応する姿は頼りになります。また、委員会の委員長を務めたときも新しいことを始めるにあたり、色々な職員と話し合いながら物事を進めることや、円滑なコミュニケーションを図ることができており、今後の成長にも期待しています。(上司 柳内繁樹さんより)

◆ おざわ さおり  
小澤 早央里さん

介護老人保健施設

小名浜ときわ苑

(いわき市)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ

私が中学生のとき母がケアマネジャーの資格を取り働き始めました。その頃、祖父がデイサービスやショートステイを利用していたこともあり、自然と介護に興味を持つようになりました。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

利用者さんへ安心・安全・安楽な介護を行うことを大切にしています。移乗介助一つとっても利用者さんによって異なり、その方の身体の状態・体調に応じた介護をするように心がけています。

小澤さんのプロフィール



好きな食べ物：カステラ  
趣味：音楽鑑賞  
休日の過ごし方：買い物

◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

私は介護福祉士になるために学校で勉強し、資格を取りました。介護福祉士として働き、毎日利用者さんに関わりながら、その方が望む生活を送れるようにするにはどうしたらいいのかを常に考えながら介護業務にあたっています。大変ではありますが、利用者さんの笑顔や感謝の言葉一つで頑張ろうと思うことができます。素敵な仕事です。







利用者さんが笑顔で過ごせるように「感謝・感激・感動」の3K介護を提供！

### 大矢さんのキラリな毎日

大矢さんは、優しさと思いやりに溢れ、前向きで明るく利用者さんの気持ちに寄り添う姿勢は他の職員の模範となっています。周囲への目配り・気配りに長けており、悩んでいる他の職員がいれば「大丈夫？」と声をかけ寄り添い、親身にサポートする姿勢に多くの職員が厚い信頼を寄せています。これからも利用者さんが笑顔で安心して過ごせるよう一緒に頑張りましょう。(上司 細野周也さんより)

◆ おおや 大矢 宇香さん

特別養護老人ホーム

福寿園

(南相馬市)

◆ **介護の道に進んだ理由・きっかけ**  
父が介護施設に入所していたとき、その施設職員さんの父への接し方に深い感銘を受けました。「自分も介護施設で働き、利用者さんに笑顔を与えられる存在になりたい」と思い、介護の道に進みました。

◆ **利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

利用者さんが毎日笑顔で過ごしていただけるように支援しようという思いを持って日々介護しています。常に思いやりを持って、利用者さんの思いに寄り添いながら関わることを大切にしています。



◆ **今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**  
今は、社会福祉主事や介護支援専門員の資格取得を目指しています。介護職員として、「感謝・感激・感動」のある3K介護を提供し、利用者さんが安心して毎日を過ごせるよう支援していききたいです。介護は、人と人との深く関わり、互いを思いやることができる魅力的な仕事です。今後多くの仲間が増えていくことを願っています。

大矢さんの  
プロフィール



好きな食べ物：ラーメン

特技：マラソン

好きな芸能人：ディーン・フジオカ

仕事と子育てを両立しながら資格を取得。  
向上心を持って取り組む姿勢で周りを明るくする。



### 溝井さんのキラリな毎日

溝井さんは、利用者さんの気持ちを第一に考え、親身になって対応しております。何事にも向上心を持って取り組む姿勢と持ち前の明るさで、利用者さんのみならず職員の方たちにも元気を与えてくれています。仕事と子育てを両立しながら介護福祉士や認知症ケア専門士の資格を取得し、専門職として自身のスキルアップにも励む日々を送っています。(上司 芳賀真由美さんより)

◆ みぞい たかえ  
**溝井 孝恵さん**

つくしデイサービス紡  
(須賀川市)

◆ **介護の道に進んだ理由・きっかけ**  
私の所属する法人が認知症カフェやハプニングラーメン、小学生を対象とした認知症サポーター養成講座など様々な取り組みを行っていることを知り、自分も成長できる職場だと感じたからです。

◆ **利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

介助や支援という堅苦しいものではなく、「私はこれをやるから、あなたはあれお願いね」というようなお互い様と感ぜられる関係性を築くことで笑顔になっていただくことを大切にしています。

◆ **今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**

私は子どもたちに「夢は叶う」という授業をしました。介護職という視点から、高齢化が進む中、病気になっても、その人はその人、自分は自分だということと、また自分を深く知り、相手を認めることで未来は明るく輝かしいものになるということを伝えました。この仕事を始めてから、人とのつながりに愛を感じ毎日を楽しく過ごせるようになりました。

溝井さんの  
プロフィール



好きな食べ物：ご飯

好きな芸能人：岡村 隆史

趣味：須賀川ゴジラキッズ







熊田さんのキラリな毎日

熊田さんは、若いながらも2つの事業所で管理者を経験しました。いつでも自分の考えをしっかりと持ち、職員一人一人に向き合っている姿が印象的な介護職員さんです。利用者さんに対しては、長年の経験を活かし、どんな利用者さんであっても熊田さんの一言で“ニコッ”と笑顔にさせることができます。そんな姿が「キラリ!!」な職員です。(上司 野口優子さんより)

「明るく・楽しく・元気よく!」がモットー。  
自分の持ち味を活かして利用者さんに楽しんでもらおう。

◆ 熊田 奈央さん

健康倶楽部郡山 小規模多機能型  
居宅介護事業所 エスポワール  
(郡山市)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ

音楽療法士の実習で介護施設に行き、様々な利用者さんとふれあう中で、介護施設を利用して生活される方の生活リズムや生活環境をもっと知りたいと思ったのがきっかけです。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

私は「明るく・楽しく・元気よく!」をモットーとしています。そんな私と関わってくださる利用者さんが、つつい笑顔になってしまおうような雰囲気と職場作りを大切にしています。



熊田さんのプロフィール



好きな食べ物：桃  
特技：誰とでも仲良くなる  
休日の過ごし方：ドライブ

◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

「介護」と聞くと「大変かな?」「難しいかな?」と考える人もいるかと思いますが、私もその一人でしたが、勇気を出して最初の一步を踏み出してみると自分にできること、自分しかできないことがたくさんあることに気がつきました。これからも楽しい時間をたくさん利用者さんや頼もしい仲間と一緒に共有していきたいと思っています。

常に笑顔で接して、丁寧な対応を心がけ、利用者さんにベストな介助をお届けする。



### 斎藤さんのキラリな毎日

斎藤さんは、普段から低姿勢で常に入居者さんの目線に合わせてコミュニケーションをとっており、介助もとても丁寧に行っています。また、ご家族の方にも落ち着いて接しています。介護業務の他にも、行事の企画立案をするなど常に積極的な姿勢で日々の業務を行っています。入居者さんからは笑顔が素敵なスタッフとして、高い評価をいただいております。(上司 村上由希子さんより)

さいとう  
斎藤 誠司さん

地域密着型特別養護老人ホーム

国見の杜

(国見町)

◆介護の道に進んだ理由・きっかけ

私の祖父が介護施設に入所していたことがあり、その際、施設の職員さんがとても優しく祖父に接している姿を見て、私も人の役に立つ仕事が見たいと思い福祉の仕事を選びました。

◆利用者さんと関わるうえで大切にしていること

私が大切にしていることは「笑顔」です。職員が笑顔で挨拶や会話をすれば、信頼関係を築く第一につながります。常に思いやりを持って接し、安心して生活できる環境を提供していきたいです。

斎藤さんのプロフィール



好きな食べ物：お米  
趣味：自転車  
休日の過ごし方：自転車で出かける

◆今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

大変なこともたくさんありますが「ありがとう」と感謝の言葉をいただくことも多く、私自身も毎日元気をもらっています。今後も利用者さんに最適な支援ができるよう気持ちに寄り添った介護を心がけていきたいです。介護の仕事に興味のある方は、やりがいや楽しさを感じることができる介護の道に進み、充実した日々を過ごしてほしいと思います。







自分が楽しむことで相手も楽しく！  
利用者さんにより良いサービスを提供し続ける！

### 石井さんのキラリな毎日

石井さんは、一見どこにでもいるような青年に見えますが、コミュニケーション能力が非常に高く利用者さん、職員を問わず、とても慕われている存在です。仕事に対しては、常に利用者目線で物事を考え、何がその方にとって一番大切なのかを見極めることができる職員です。業務改善にも積極的に取り組み、これからの当施設にとって大切な職員の一人です。(上司 横田悠一郎さんより)

◆ いしい 清孝さん  
きよたか

特別養護老人ホーム

船引こぶし荘

(田村市)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ

中学生の時、テレビで見た介護特集でこの世界を知り、興味を持つようになりました。将来、両親にできる親孝行は何かと考え、介護福祉士の道を目指すことにしました。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

利用者さんと自分の両方が笑顔になれるような声かけをしようと常に意識しています。また、施設内の各種行事では、利用者さん以上に自分が楽しみ、全体を盛り上げられるように意識しています。



◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

介護支援専門員の資格取得や介護に関する知識を深めて視野を広げたいと思います。介護職として、まだまだ不足している部分があり、先輩方の背中を見て介護技術や接遇について研鑽し、リーダーシップを発揮できる人材になることが目標です。今後も、初心を忘れず、利用者さんにより良いサービスが提供できるように努力していきたいと思えます。

石井さんの  
プロフィール



好きな食べ物：ラーメン

趣味：映画鑑賞

休日の過ごし方：ドライブ

働きながら介護福祉士国家資格を取得！  
一人一人に寄り添った介護で利用者さんも安心。



### 雅楽川さんのキラリな毎日

雅楽川さんは、優しい性格で利用者さん一人一人に対して丁寧に声かけを行い、相手に寄り添ったケアをしています。そのため、利用者さんからの信頼がとても厚いです。入社当初は無資格でしたが、業務に取り組みながら真面目に勉強をして、介護福祉士国家資格を取得しました。また、施設の広報も担当しており、当施設の情報を分かりやすく発信しています。(同僚 長谷川菜美さんより)

うたがわ たかし  
◆ 雅楽川 貴志さん

グループホーム

西会津しようぶ苑 桐

(西会津町)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ  
前の仕事を辞め、仕事を探していた際、知人に「介護職はどうか」と勧められました。学生の頃に祖父の介護を手伝っていたこともあり、やってみようと思い、この仕事を始めました。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

利用者の皆さんは人生の大先輩ですので、敬う気持ちを忘れず日々関わりを持っています。私の介護によって利用者さんの一日一日がより良くなるよう心がけ、介助や声かけを行っています。

◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

利用者さんへの声かけ一つとってもまだまだ未熟だなと思う場面が多く、これからも日々の仕事を通して学ぶことがたくさんあると思います。少しずつでもスキルアップできるように心がけて介護の仕事を続けていきたいです。介護は決して楽ではなく大変な仕事ですが、それ以上に達成感や喜びを味わえる素晴らしい専門職だと感じています。

◆ 雅楽川さんのプロフィール

好きな食べ物：焼肉  
趣味：自作パソコン  
休日の過ごし方：ゲーム





利用者さんが何を求めているのかを考え、  
上手にコミュニケーションをとる！



生江さんのキラリな毎日

生江さんは、介護職員一番のイケメン男性です。利用者さんや職員と接するときは明るく・楽しく・前向きに接することを心がけ、どんな方でもすぐに打ち解けます。周りを常に観察し、利用者さん一人一人にとってより良いケアができるよう心がけています。プリセプターの経験もあり、今後はリーダー的存在となれるよう活躍を期待します。(上司 阿部早苗さんより)

なまえ  
**生江 駿**さん  
しゅん

特別養護老人ホーム  
桐寿苑  
(三島町)


◆介護の道に進んだ理由・きっかけ

特にやりたい仕事がなかった私に祖父が介護の仕事を紹介してくれました。やりたい仕事ではなく、なんとなく始めた仕事ですが、今はやりがいを感じ天職だと思っています。

◆利用者さんと関わるうえで大切にしていること

利用者さんは、自分の鏡だと思いつつながら仕事をしています。何を求めているのか、何を伝えたいかを考え、いつも笑顔で接することができれば、利用者さんも笑顔になると思います。

生江さんのプロフィール



好きな食べ物：タンパク質  
趣味：フットサル  
休日の過ごし方：筋トレ

◆今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

今後の目標は、社会や地域に密着した介護施設を作っていきたいです。利用者さん、職員が積極的に地域に出て、共生できるようボランティアなどに参加していきたいです。介護の現場は楽しく、一定の作業とは違い、人と携わる仕事なので毎日が新鮮です。自分なりのやりがいや魅力を見つけながら、仕事をしてほしいです。



明るく丁寧な対応で、職場のムードメーカー。  
一人一人に寄り添った、心通わす介護を実践！



### 東城さんのキラリな毎日

東城さんは、介護を学び新卒で就職しました。利用者さんの状況に応じた対応を心がけるようにしており、明るく丁寧な介護は利用者さんから信頼を得ています。常に前向きに介護に取り組み、安心できるような介護を実践しています。チームのムードメーカーとして連携を図っている姿は、後輩の手本となっています。今後も責任感をもって活躍して欲しいと感じています。(上司 林勝博さんより)

とうじょう  
**東城 有紗さん**  
ありさ

短期入所生活介護

国見の里

(国見町)

◆**介護の道に進んだ理由・きっかけ**  
今までの人生の中で、大好きだった曾祖母と祖父が亡くなる経験をしました。幼い頃だったので、何もできませんでした。そのときの思いから、人の役に立つ仕事に就きたいと考えようになりました。

◆**利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

利用者さんの言葉・仕草・表情を見て、相手がどう思っているのか考えながら、寄り添った介護を行っています。また、どんな時でも安心していただけるように、穏やかに接することを大切にしています。

**東城さんのプロフィール**



好きな食べ物：ロールキャベツ  
好きな芸能人：錦戸亮  
趣味：旅行

◆**今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**

利用者さんが、少しでも幸せだと感じることのできる介護を行っていきたく思います。また、日々自己研鑽に励み、安心・安全な介護をしていきたいです。介護の仕事は、色々な経験ができます。利用者さんに寄り添っていると小さな変化があり、心と心が通じ合ったときに幸せを感じます。自分自身が成長できる仕事だと思えます。







日々、利用者さんの思いを大切にしながら、  
素敵な笑顔でその人らしい生活を支える！

村上さんのキラリな毎日

村上さんは、同僚から信頼される介護職員で、利用者さんからは「明るく笑顔が素敵だね」と言われています。熱心に介護を学び、介護福祉士国家資格を取得し、ユニットリーダーとして責任感をもって、チームケアの中核を果たしています。また、自己研鑽から介護福祉士ファーストステップ研修を受講しています。今後もより良い介護を継続して行ってほしいと思っています。(上司 林勝博さんより)

村上 絵美さん  
むらかみ えみ

特別養護老人ホーム

国見の里

(国見町)

◆**介護の道に進んだ理由・きっかけ**  
人と接することが好きなこともありましたが、いずれ介護が必要になる祖父母や家族の力になれるようにと思い、この専門職を仕事にしたいと思ったのがきっかけでした。

◆**利用者さんと関わるうえで大切にしていること**  
利用者さんの思いを大切にしながら、その人らしい生活が送れるように、また、その人の持っている可能性を見出しながら、安心安全を心がけて関わっています。



◆**今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**  
知識・技術の向上を目指し、周りの職員にも発信することで、より良いケアにつなげていきたいと思えます。介護職は利用者さんとの関わりの中で、共に喜びや楽しみを味わえるとてもやりがいや魅力のある仕事です。ぜひ、このやりがいを感じてみませんか。

村上さんの  
プロフィール



好きな食べ物：パスタ

趣味：音楽鑑賞

休日の過ごし方：買い物

どんな利用者さんにも丁寧で真摯な対応、  
一人一人に目配りした介護を実践！



### 高野さんのキラリな毎日

高野さんは、優しい方です。当事業所には、自立度の高い方やほぼ寝たきりの方、認知症の方や精神的に不安定な方など様々な利用者さんがいらっしゃいますが、どんな利用者さんに対しても非常に丁寧で真摯な対応をしています。また、普段から向上心を持って「より良い介護」や自身のスキルアップを目指して非常に前向きに取り組む姿勢は、周囲の職員にも良い刺激を与えてくれています。(上司 松尾義仁さんより)

たかの  
**高野**  
ゆみ  
**由美子**さん

通所介護

元気サポート笹谷

(福島市)

◆**介護の道に進んだ理由・きっかけ**

転職を考えていた時期に、目に付いたのが介護職でした。身近に、介護が必要な全盲の祖父がいたため、仕事に就きながら専門的な知識を得たいと思い、介護の道に進みました。

◆**利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

利用者さんの疾患や体調変化を常に気にかけています。また、介護職員もリハビリ補助をする機会が多いため、リハビリ内容を在宅生活で活かせるように意欲を高められるような声かけを心がけています。

高野さんの  
プロフィール



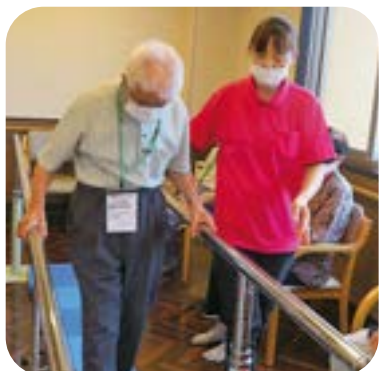
好きな食べ物：チョコレート

好きな芸能人：TOKIO

特技：カラオケ

◆**今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**

今後も新しいことにチャレンジし続け、周囲から信頼される職員を目指していきます。介護支援専門員の資格取得も目標です。介護は利用者さんの人生の最終章を見届けることもある仕事ですが、尊厳を尊重しながら支援していければ、誰もが素晴らしい介護職員になれると思います。私も利用者さんに「元気」になっていただくために、日々頑張っていきます。







豊富な介護経験を活かし、  
一人一人に合ったケアを行うユニットリーダー。

### 木幡さんのキラリな毎日

木幡さんは、介護経験が豊富で、その経験を踏まえ、より良い職場環境やケア提供に入職当時から尽力している姿が印象的でした。利用者さんとのコミュニケーションを密に取り、信頼関係を築くことが上手だと思います。入職して間もなくユニットリーダーを任され、スタッフから相談を受けている姿をよく見ており、同じユニットリーダーとして頼りになる心強い存在です。(同僚 浅野舞さんより)

◆ **木幡 真衣さん**  
こはた まい

ケアハウス星風苑  
(伊達市)

◆ **介護の道に進んだ理由・きっかけ**  
 祖父母と一緒に過ごす中で、地域の行事や集まりを通して高齢の方と接する機会が多く、自然と介護や福祉について関心を持ち、福祉業界に入り役に立ちたいと思ったのがきっかけです。

◆ **利用者さんと関わるうえで大切にしていること**  
 一人一人に合ったケアができるよう、しっかりと観察することを大切にしています。言葉が通じなくても、意思疎通が図れなくても、その人らしく生活を楽しんでいただけると嬉しく思います。



◆ **今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**  
 多方面でのアプローチやサポートができるように、介護だけでなく福祉全般の知識や技術を身に付け、自身のスキルアップを図りたいと思っています。人対人の関わりで精神的にも肉体的にも大変ではありませんが、向上心を持って日々精進しながら利用者さんの人生と一緒に作るお手伝いができる介護職は素敵な仕事だと思います。

木幡さんの  
プロフィール



好きな食べ物：辛いもの

趣味：ドライブ

休日の過ごし方：行き先を決めずドライブ

笑顔を決やさず接して、  
何気ない会話からコミュニケーションを生み出す！



### 富永さんのキラリな毎日

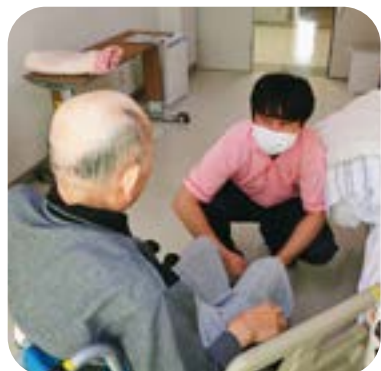
富永さんは、入職してから、そろそろ10年になろうとしています。笑顔を決やさずに入所者さんに接する姿勢は、当初から少しも変わることがなく、大変素晴らしいものだと思います。また入所者さんに対しての観察力にも優れており、いつもと違う様子ときは、いち早く気づくことができますし、とても頼りになる存在です。(上司 赤間隆一さんより)

とみなが  
**富永 涼さん**

特別養護老人ホーム  
あづまの郷  
(福島市)

◆**介護の道に進んだ理由・きっかけ**  
私が中学生だったときに祖父が在宅介護を利用していた際、誤嚥をして亡くなってしまいました。このことで、私自身が介護を勉強し、事故で亡くなる人が一人でも減つたらいいなと思い、介護の道に進んでみようと思ったのがきっかけでした。

◆**利用者さんと関わるうえで大切にしていること**  
入所者さんから、いつでも声をかけてもらえるように笑顔で接し、何気ない会話で自然にコミュニケーションが図れるように努めています。



◆**今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**  
介護は人を相手にする仕事であり、大変なイメージがあるかもしれませんが、「こうしたら高齢者の方の介護負担が少なくて済むのではないかな」「会話することが困難な方でも、こうしたら、コミュニケーションが図れるのではないかな」と考え、実践しています。それがうまくいったときは、とてもやりがいを感じます。

### 富永さんの プロフィール



好きな食べ物：アイス

趣味：ゲーム

休日の過ごし方：子どもと遊ぶ





利用者さん一人一人に寄り添ったケアを提供。  
畑仕事を通して利用者さんの日々を楽ししく！

佐藤さんのキラリな毎日

佐藤さんは、他業種から介護の仕事に転職しています。転職当初は戸惑いもあったかと思いますが、持ち前の明るい性格と笑顔で利用者さんに寄り添ったケアを提供しています。野菜作りの経験が無い中、独学で野菜作りに励み、利用者さんと一緒に野菜の栽培・収穫を楽しんでいます。中堅職員となり新人職員の指導なども丁寧に行っています。今後、さらなる成長が期待できる職員です。(上司 紺野真澄さんより)

佐藤 淳一さん  
さとう じゅんいち

認知症対応型共同生活介護

ロング・ライフ フクチャランチ  
(福島市)

◆介護の道に進んだ理由・きっかけ

知人が介護の仕事をしていたこともあり、自分もやってみようと思いました。いざ働いてみると自分の性に合っていると思っています。

◆利用者さんと関わるうえで大切にしていること

畑作業を通じて、利用者さんこれまで過ごしてきた暮らしに近い生活環境で暮らしていただくこと、認知症になっても手続き記憶によりできることはやっていただき、日々の暮らしに楽しさを持ってもらうことを大切にしています。



佐藤さんの  
プロフィール



好きな食べ物：かっぱ巻き

趣味：畑いじり

特技：ソフトボール

◆今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

「歳をとっても、認知症になってもできることをやり続けるのは素晴らしい」をモットーに、これからもケアを行っていきます。介護の道を目指す方はぜひ、当法人のフェイスブックやインスタグラムをご覧ください。また当施設は、昨年の11月より週休3日制を導入し、働きやすい職場を目指しています。

明るく温かみのある声かけで利用者さんと接する。  
利用者さんの毎日を職員全員で楽しくする！



### 高橋さんのキラリな毎日

高橋さんは、明るく温かみのある声かけで利用者さんと接し、利用者さんはじめ職員からも大変親しまれています。利用者さん、ご家族に対しての気配りが行き届いており、信頼が厚い存在です。責任感も強く、業務にも誠実に取り組む姿が印象的です。研修や勉強会へも積極的に参加し、知識・技術習得に励んでおり、今後は介護リーダーとしての活躍が期待される職員です。(上司 古川拓也さんより)

たかはし  
高橋 莉子さん

健康倶楽部郡山小規模多機能型  
居宅介護事業所アルコート並木  
(郡山市)

◆**介護の道に進んだ理由・きっかけ**  
大学生の頃、祖母が介護施設を利用していて、いきいきと施設に通っている様子や親身に相談にのってくれるケアマネジャーさんの働き方を見て、私も福祉業界の道に進みたいと思いました。

◆**利用者さんと関わるうえで大切にしていること**

職員間のチームワークを大切にしています。毎月の行事は利用者さんに楽しんでいただけるよう、ミーティングを重ねています。「とても楽しかった」「また参加したい」とのお喜びの声が、私の励みになっています。

◆**今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ**

認知症ケアサポーターやケアマネジャーの資格取得を目指しています。介護の仕事は利用者さんやご家族との関わりはもちろんのこと、看護師や栄養士、リハビリ職といった様々な分野の方と関わり、自分が知らない知識を学ぶこともでき、とても勉強になります。たくさんの方と関わりながら、利用者さんを笑顔にできる、やりがいのある仕事です！

高橋さんの  
プロフィール



好きな食べ物：抹茶

趣味：TV鑑賞

休日の過ごし方：ガチャポン集め





いつでも笑顔で真摯に仕事に取り組む姿は誰からも信頼される若きホープ。



阿部さんのキラリな毎日

阿部さんは、入居者さんにいつも明るく優しく声をかけてくださり、入居者さんからも信頼されています。責任感が強くサブリーダーとしてしっかりとした介護感を持ち自分の考えを発言してくれます。後輩のことも引っ張ってくれる頼もしい存在です。(上司 小野悦子さんより)

◆ 阿部 美祈さん

有料老人ホーム

感謝の郷いわき

(いわき市)

◆ 介護の道に進んだ理由・きっかけ

中学生のとき、職場体験で福祉施設を訪問したことがきっかけです。中学生の私にはすべてが新鮮に感じ、もっと深く介護について知りたい、学びたいと思い介護の道へ進みました。

◆ 利用者さんと関わるうえで大切にしていること

親しみやすい雰囲気作りを大切にしています。良い関係を築いていくことでより良い介護につながると思っています。そうすることで小さな変化も見逃さずに気づくことができると思います。

阿部さんのプロフィール



好きな食べ物：パスタ  
趣味：スノーボード  
特技：手品

◆ 今後の目標や介護の道を目指す方へのメッセージ

今後は研修を受講したり介護支援専門員の資格を取得したいと思っています。介護の知識、技術を共に高め入居者さん一人一人に寄り添った対応をしていきたいです。介護はきつい仕事というイメージがあるかと思いますが、大変なことを上回るやりがいや楽しさがあります。



## キラリふくしま介護賞とは (実施要綱より一部抜粋)

### ■目的

介護施設等で勤務する介護職員が仕事にやりがいを感じ、モチベーションを向上させることにより、より一層仕事に励み、職場に定着することを目的に、他の介護職員やこれから介護の業務を目指す学生等の目標や憧れとなるような働き方をしている介護職員を表彰し、また、介護施設、事業所が実施する労働環境・処遇改善等についての優れた取組を讃えることにより、介護人材の定着、育成等を促進するとともに、その取組を他の事業所に普及させ、介護人材の確保・定着・イメージアップにつなげる取組を推進するために令和2年度から始めました。

### ■対象

#### ●介護職員表彰

- (1) 県内の施設及び事業所(※)で現に勤務しており、介護職としての従事年数が当該年度4月1日現在で5年以上10年未満の者
- (2) 介護福祉士若しくは介護支援専門員の資格を有する者又は介護職員実務者研修若しくは介護職員初任者研修を修了した者(同等の研修を修了した者も含む)
- (3) 次のすべてに該当する者
  - ア 利用者やその家族に対する対応が優れている。
  - イ 新人職員や後輩職員への指導・助言に積極的に携わっている。
  - ウ 職員同士のチームワーク向上に貢献している。
  - エ 介護の仕事に積極的に取り組んでいる。

#### ●介護施設表彰

- (1) 労働環境及び処遇の改善(働きやすい、働きがいのある、働き続けたい職場づくり)等について、次のアからキの着眼点から、優れた取組を行っている判断される県内の施設及び事業所(※)
  - ア 継続性(一時的な取組ではなく、継続的な取組、取組内容の見直しが必要に応じて実施されている)
  - イ 独自性(先行事例に工夫を加えた取組)
  - ウ 先進性(今後の介護を取り巻く環境を見据えた取組)
  - エ 展開性(他の事業所での実施が可能な取組)
  - オ 模範性(他の事業所での実施が望まれる取組)
  - カ 一体性・全体性(職員全員に取組の意図や内容が浸透している、事業所をあげての組織的な取組)
  - キ 実績・成果(働きやすい、働きがいのある職場づくりに繋がっている、職員の入職増・定着に繋がっている、利用者の満足度の向上に繋がっている)

(※) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第五条の二、第五条の三、第二十九条並びに介護保険法(平成9年法律第123号)第八条に定義された施設及び事業所





キラリ  
ふくしま  
介護賞

# 介護施設表彰



福島県内の  
受賞施設 5 施設をご紹介します。

※感染症対策を行いながら取材をし、写真撮影時のみマスクをはずしています。

# 外国人技能実習生を受け入れ、 人を育てる意識を育てる



技能実習生(写真上、中央3名)と共に、質の高いサービスの提供を目指す

## 社会福祉法人啓和会 特別養護老人ホームしょうぶ苑(喜多方市)



施設長 齋藤 己義

### 技能実習生の受け入れを機に 教育手法の統一をめざす！

当法人は、各種様々な施設を運営しています。職員は施設間でジョブローテーションを行いながら、キャリアアップ、組織の活性化を図ってきましたが、職員の教育という面においては、施設によって教育手法にばらつきがあり、職員の定着率にも課題がありました。

各施設でOJTを行っておりましたが、介護技術ひとつをとっても、手法の統一ができておらず、職員によってやり方は様々で新人職員が混乱してしまう場面もありました。また、新人職員をしっかりと教育できる中堅

### 1 教育方法の見直し

職員がなかなか育たないという現状も見えてきました。

そんな中で、将来の介護人材の不足に備えて「外国人技能実習生を受け入れてみよう」という発案のもと、その受け入れ準備として、職員の教育手法の見直しを行っていくことにしました。なぜなら、日本の介護技術、知識を短期間で習得する高い目的意識を持つ技能実習生を受け入れるには、大きな責任があり、職員全体によるしっかりとした教育体制の整備が求められると思っただからです。

まず初めに行ったのは、以前からある各種マニュアルの見直しです。技能実習生が介護現場に入りOJTを行ったとき、自分たちのやっている介護は実習生に真似されて恥ずかしくない

### 課題解決へのステップ

ステップ

1 将来の介護人材  
職員の定着率に課題

技能実習生の受け入れ

ステップ

2 受け入れ体制の整備

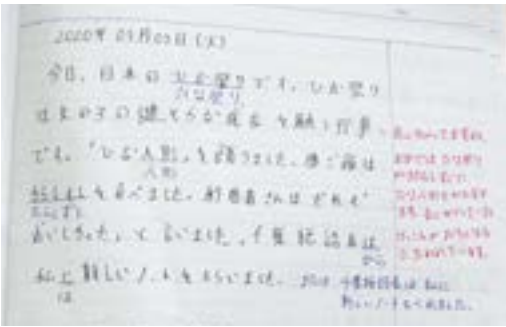
教育手法・マニュアルの  
見直し

ステップ

3 施設全体での教育体制  
づくり

職員全員に人を育てる  
当事者意識が生まれた





日誌の添削は日本語学習支援だけでなく、日常の出来事など会話のきっかけにもつながった

ものだろうか、という視点でマニュアルの内容をもう一度見直しました。その後、職員に対し新しいマニュアルを用いて研修会を開催し、職員一人一人に手法の統一を図りました。

その他にも受け入れ準備として、生活環境や勤務時間以外のサポート体制の整備など役割分担を決め、施設全体で技能実習生をサポートできる体制を作りました。

また、外国人を受け入れることに関して不安を抱えている職員もいたため、事前に勉強会の開催、多言語アプリをいれたタブレットの準備や、さらには実際に監理団体所属のベトナム人

通訳を講師に招き文化や歴史について理解を深め職員の不安を軽減することも丁寧に行い、令和元年9月に2名の外国人技能実習生を受け入れました。

実際に受け入れてみるとしっかりと事前教育がされており、簡単な日本語を使いながら職員とコミュニケーションを楽しむ姿が見られ安心したことを覚えていました。

2 みんなで育てる体制づくり  
施設全体で職員を育てる

### 施設全体で職員を育てる

今まで新人職員の教育は、介

護現場に任せきりで介護課職員のみで担当していましたが、今回の見直しで、新人職員（外国人技能実習生）への教育は看護課・総務課を巻き込み役割を持たせ、医療的な部分については看護課が、制度のことについては総務課が、教育担当職員の相談役を管理職が担当し、施設全体で職員を育てるという意識を高めました。新人職員を教育していた中堅職員が迷ったときに相談する場所ができたことは、大きな変化だったと思います。

実際の介護現場では、指導する職員は交代勤務のため、新人職員（技能実習生）の情報を共有して引継ぎ、指導が途切れないように工夫していきました。

3 笑顔とチームワークの定着  
技能実習生から刺激をうけ…

令和2年2月に新たに4名を受け入れ、現在は6名の技能実習生が元気に働いています。若い技能実習生が入ったことで職場が明るくなり、職員も利用者さんも笑顔が増えました。また、

実習生から「なぜ?」「どのような」と常に聞かれるので、ベテラン職員にとっても介護を見直す良い機会となっています。ベトナム人の勤勉さ、明るさに日本人職員が改めて学ぶことも多いです。

外国人技能実習生受け入れのための準備が、結果として未経験の新規入職者に対しても当てはまる、汎用性のある教育マニュアルの作成につながり、全ての新人に対して「見て覚えてもらう」から、理論や根拠も含めて丁寧に教える」に変わりました。それと同時に職員全員が当事者意識を持って一人に教える、人を育てる」意識が広がり、職場内のコミュニケーションも活発になったことからチームワークが強化されました。

技能実習生が来てからの新規入職者で退職した人は現在のところ一人もおらず、毎日、笑顔で働いています。

今後も見直しを行いながら、職員が働きやすい、働きがいのある、働き続けたい職場づくりを施設全体で作りに上げていきたいと思っています。

### 職員の声

● 最初、外国人実習生が来ると聞いて不安でしたが、実習生は人柄が良く、教えたことをしっかりと守ってくれます。

利用者さんから、「頑張っているね」と声をかけられている姿をよく見かけます。のみこも早く、教える方も楽しいです。

外国人実習生にも伝わるように、教える側の私たちも分かりやすい言葉で説明することで勉強になります。

外国人実習生がいるおかげで職員同士のコミュニケーションが増えて、職場全体の雰囲気明るくなったように感じます。

（介護主任 遠藤さん）

● おじいちゃんやおばあちゃんが大好きで介護職を選びました。先輩職員さんが優しく指導してくれ、休日には桜や紅葉を觀賞に連れて行ってくださると充実しています。

（外国人技能実習生 ド・ティ・キム・タムさん）

# SNSの活用が職員の意識を変え、より良いサービスの提供に



SNSの活用が相乗効果を生んだ

## 社会福祉法人恩賜財団済生会支部福島県済生会 複合施設なでしこ川俣 (川俣町)



左:介護職員リーダー  
飯沼 義雄  
右:副主任理学療法士  
河野 哲也

### SNSの活用で ブランディング！

当施設は、地域密着型の特別養護老人ホーム・老人保健施設、通所リハビリテーションの複合施設です。小規模事業所のため余裕をもった人員配置はできない状況にあり、「職員の退職」が与える影響は職員不足だけでなく、採用事務・採用後の育成など、労力・経費共に大きな負担となります。職員がやりがいを持ち働き続けたいと思えるような施設にするにはどうするべきか、外部コンサルタントに相談したところ「職員の自己肯定感を高めることが大切」というアドバイスをもらいました。

具体的にどうすれば良いか考えた結果、「施設で行っている取り組みや魅力を発信し、外部の方に見てもらうことで施設のブランド力を高めるのはどうか」という考えに至りました。理由としては、魅力ある情報発信を続け、施設の知名度をあげ、地域の方や求職者に選んでもらえる施設になることで、ブランド力を高め「自分たちはこんなに素晴らしい施設で働いているんだ」という、職員のモチベーションアップにもつながると思ったからです。

地域に自分たちの介護や考えを発信していく手段の一つとして、ツイッターやインスタグラムなどのSNSを活用することにしました。新たにSNS委員会を発足し、投稿する際のルールを

### ① SNSで魅力発信

#### 課題解決へのステップ

ステップ

① 働き続けたい職場になるために

情報発信し  
ブランド力を高める

ステップ

② 投稿内容の偏りと更新頻度が課題

担当者を限定せず発信  
特色が出て家族からも好評

ステップ

③ 職員の自己肯定感を高める

「いいね！」が自信に  
意見を出しあえる職場へ





Twitterのメインページ(上)  
投稿前のダブルチェック(下)

決め、まずは行事や研修会の様子を発信するようになりました。

## 2 各グループで投稿

### 担当者を限定せず アイデアを創出！

開始当初はSNS委員会を中心に発信をしていましたが、何を投稿すれば良いかわからず、内容がイベントに偏ってしまい頻度は少なく継続的ではありませんでした。ターニングポイントになったのは、投稿者をSNS委員に限定せず各グループに協力してもらおうようにしたことです。すると、他の施設のSNSを見て日常の様子を投稿することが

大切だと気づいたり、「こんな投稿をするとうまいのではないかなど意見を出してくれる職員が現れはじめ、自然に職員同士で意見交換をしたり、良いと思った写真を提案し合うなど職員間のコミュニケーションが活発になっていきました。

投稿内容にもグループごとの特色が出始めました。特養は住居としての日々の生活、老健だと在宅に向けたリハビリの様子、通所なら日々のレクリエーションなどを投稿しています。「ご家族から「見ましたよ」「情報を載せてくれてありがとうございます」と言われることも多く、面会が制限されているコロナ禍の現在は特に施設の様子をご家族に伝える良

い手段となっています。

利用者さんの顔はプライバシーに配慮し掲載はしていませんが、職員の顔はたくさん掲載するようになってきました。職員が楽しそうに笑顔で関わっている姿から、利用者さんの顔は見えなくても和やかな雰囲気は伝わって思っています。

## 3 職員の気持ち変革

### 職員の自己肯定感UPで より良いサービスを！

SNSを各グループごとに発信する形を取ったから、職員の気持ちにも変化がありました。以前は施設側に意見を出しにくい空気感がありましたが、自分たちのやっている介護を発信するという意識を持つと、他の職員の良いところを探すようになったり、とりあえずやってみようというチャレンジ精神が出てきました。また、自分たちが工夫して投稿した記事に「いいね」がたくさんついたり、コメントでお褒めの言葉をいただいたりすると職員も嬉しく、自分たちで企画・実施・発信したものが認められると、自信に

つながり、積極的に意見を出しあえる雰囲気が生まれました。職員の仕事へのやりがいも高まり、より良いサービスの提供につながるといふ好循環も生まれています。SNSをきっかけに見学・採用に繋がったケースもあり、自分たちの取り組み、介護の魅力を発信する大切さを改めて感じました。



日々の様子を写真にとり、SNSに投稿しています

### 発信する際のルール

**顔** 利用者さんの顔は出さない  
利用者さんの顔をスタンプで隠さない

**背景** 写真に利用者さんの個人名が入らないようにする

**チェック体制** 投稿前に他の職員に見てもらい  
ダブルチェック実施

## 職員の声

私は12名いるSNS委員の1人です。

SNSの運用を始めると聞いたとき、どういふ内容を投稿すれば良いかわからず困っていました。

そこで、他の施設のSNSを見るとリハビリの様子など日頃の日常を投稿していることを知り、気持ちが楽になりました。

また、定期的に投稿の反応を見て打ち合わせをしています。

この日の投稿はなんで「いいね」が少なかったのかなどの反省をすることで投稿内容をより良いものにしていきます。

(介護職員 田中さん)  
投稿するネタがないときは自分たちの思いや今日の一言などを投稿しています。

「こんなことを考えている職員がこの施設に居るんだ」ということを知ってもらうだけでも価値のある発信になるのではないかと思います。

(介護職員 八島さん)

# タブレットの導入という挑戦で 職員の負担を軽減し明るい職場へ



タブレットの導入で利用者さんとゆっくり関わられるようになった。

## 社会福祉法人ライフ・タイム・福島 認知症対応型共同生活介護 ロング・ライフ フクチャンち(福島市)



管理者 紺野 真澄

### 職員の業務負担軽減 記録の整理と新たなルール作り

以前は職員も多く、忙しい中でもなんとか業務をこなしておりましたが、近年の介護職離れ、人材不足は当事業所においても例外ではなく、今までの業務量ややり方では職員への負担も多くなり、業務効率化、負担軽減を行っていかねばならない状況になっていました。

業務の中でも記録に関しては、個別記録やホーム日誌など数ある書類を全て手書きで行っていたため、詳細を書けば時間がかかり、文章を訂正すると読みづらくなるなど様々な問題があり、職員の負担軽減・業務の効率化

という面から、今までの記録を見直し、タブレットで入力を行うことを取り入れることとしました。

まずはじめに行ったのは、職員の負担軽減に向けて「何を情報共有するのか」を見定めるための記録項目や内容の整理です。どんなデータが欲しいのか、どれがシステム化できるのか、不要な項目はあるか、さらには誰でも使いこなせるものにするにはどうすればいいかなどを意見交換していきました。また、今までは利用者さんに異常がない場合、「異常なし」と記載していましたが、特記することがあった時にだけ記入するというルールも決めていきました。その内容を業者に伝え、ソフトに反映してもらい、既製品ではなく当事業所

### 課題解決へのステップ

ステップ

1 記録業務の負担が大きい

タブレット導入で  
時間短縮をめざす

ステップ

2 記録項目の整理  
ルール作りが必要

必要なところは手書きを  
残し、より効率性をアップ

ステップ

3 利用者さんと関わる時間を  
増やす

利用者さんの生活に  
メリハリができた





電子入力はいつでもどこでもできる。  
利用者さんに体調を聞きながらの記入も可能。

に合うソフトを作り上げていき  
ました。

## 2 タブレットを導入

### 時間短縮を実現！ アナログ併用で効率化

当事業所は開設当時から「おむつゼロ」など、新しい取り組みにたくさん挑戦してきたこともあり、職員は新たなものを取り入れることにあまり抵抗はありませんでした。

タブレット導入の際も、3日間にはわたってシステム会社の方から使い方や入力方法などを教えてもらおうと、職員は思ってい

たよりもスムーズに移行することができました。

使っていくうちに使いづらい部分や「もっとこうした方が良い」などの意見が職員から出されたときは、システムを手直ししてもらいより使いやすいものにしていきました。

タブレットを導入したことで、記録時間が今までの半分ほどになり勤務時間内に記録を終え退勤することができるようになりました。

また、書類から書類へ転記が必要だった部分も、一か所に入力すればすべてに反映されることでミスも無く業務効率化も図れました。

以前は記録に時間がかかっており、時間的余裕があまりありませんでした。そのため利用者さんとゆっくり関わる時間を取るのが難しい場面も多くありました。

タブレットを導入してからは記録時間が大幅に削減できたため利用者さんと外気浴をしたり、事業所の横にある畑で野菜を育てたり、花を育てたり、一緒に作品づくりや食事づくりができて

### 3 時間を創出 利用者さんと関われる

その他にも利用者の皮膚の状態を写真に収め経過観察できたり、全職員で共有しなければいけない事項も共有しやすくなりました。

しかし、全てタブレットに移行したわけではなく、利用者さんのケアをしながら行うチェック表など、手書きの方が分かりやすいものは手書きのまま残り、デジタルとアナログを併用することで、より効率化を図っています。



利用者さんと一緒に花植えができるようになった

るようになりました。

時間的余裕が生まれ、職員間にも気持ちの余裕ができ、利用者さんとじっくり関わる時間を楽しめるようになったことで、利用者さんの生活にもメリハリができ、夜間はぐっすり寝る方が増え夜勤の介護職員の負担も減るといふ相乗効果もありました。

また、タブレット導入でお互い分からないことを教え合ったりするなど、職員間のコミュニケーションも増えました。

タブレット導入にあたり、はじめはとまどっていた職員もおりましたが、すぐに慣れることができ、職員の働きやすさにもつながりました。これからも明るい職場を維持できるよう努めていきたいと思います。

## 職員の声

私は長年手書きで記録していたので、タブレットを導入すると聞いたときは自分でもきちんと記録できるか不安でした。

ですが、実際やってみると意外に簡単ですぐ慣れました。手書きの記録は間違えたら訂正印を押さなければいけなかったり大変でしたが、今ではすぐ修正・記録ができ、負担が少なくなりました。

記録時間が少なくなつた分、利用者さんと一緒に過ごす時間が増えて、日々が充実しています。

（介護職員 澤田さん）

私は昨年の5月に当事業所に入職しました。以前、勤務していた施設では全て手書きで記録していましたが、こちらではタブレットで入力していることにより記録時間を少なくできますし、情報共有もしやすいのでとても便利だと感じています。

（介護職員 井上さん）

# 用務スタッフの採用を通して 負担を軽減し、笑顔あふれる職場へ



用務チームを編成し、効率よく業務を進める

## 社会福祉法人矢祭福祉会 特別養護老人ホームユーマイホーム (矢祭町)



左：理事長 高信 由美子  
右：施設長 金澤 健至

### 視点を変えて 介護職員の負担を減らす

当施設は山間地域にあります。介護職員の需要はあるものの、人口も少なく働き手も少ない状況の中、町内に新たな施設が増えたこともあり、介護職員の求人を出しても応募が無く、職員の補充が思うようにできませんでした。

人手不足により職員一人あたりの業務負担も増加し、その状態が長期化していたため、職員の顔からは笑顔が減り、さらに新型コロナウイルスの影響も重なり、今までにない重苦しい雰囲気漂っていました。

知人を頼って介護職員を探し

ている中で「介護はできないけれど、お手伝い程度ならやってみてもいい」という声が複数あることを知りました。また他県での「介護補助職員」の採用が成功している事例を偶然目にしたこともあり、介護職員の採用は難しいが、周辺業務に従事する用務スタッフについては採用が見込めることがわかり、職員の負担軽減を図るため、用務スタッフを増員することに決めました。

今まで用務スタッフには掃除のみを担当してもらっていましたが、それ以外にも現在介護職員が行っている業務の中から、用務スタッフに担当してもらう事が可能な業務かつ、介護職員の負担軽減になる業務を検討したところ、洗濯業務があげられました。また、用務スタッフが

### 課題解決へのステップ

ステップ

**1** 介護職員が不足し、業務負担が増加していた

用務スタッフを増員し、  
周辺業務を減らす

ステップ

**2** 効率よく周辺業務を進める必要があった

チームを編成し、リーダーを任命。伝達機能を  
明確化した

ステップ

**3** 更なる効率化で時間的、精神的余裕を生み出す

有給休暇取得促進、  
利用者さんとの関わりが  
増えた





介護職から、用務スタッフリーダーへ伝達(上)  
さらに衣類の修繕もできるようになった(下)

不在になる日が無いよう、現在の2名に加え新たに2名採用することとなりました。

## 2 組織の編成

### チームを編成し、作業の効率化をはかる

用務スタッフの採用は、その方の働ける時間や曜日に合わせて、施設が勤務時間を調整したことで、すぐに2名を雇用することができました。

そんな中、長年施設で看護主任として勤務していた職員から、定年を迎え体力的に厳しくなってきたので退職したいとの申し出がありました。施設や利用者さんを熟知した職員が辞めてし

まうのもつたいなく、理事長と相談し用務スタッフのリーダーとして働いてはもらえないかと本人に提案したところ、快く引き受けてもらえました。

それまで職員構成に用務スタッフは属しておらず、介護部署の手伝いのような体制でしたが、これを機に用務スタッフを1つの部署として独立させ、ベテランの常勤職員をリーダーとし、「総合業務部署」として5名体制でスタートさせました。清掃係2名、洗濯係2名で編成し、リーダーは業務の配や用務スタッフ不在時のフォロー、介護部署との連絡調整を行っていただきます。施設を熟知したリーダーを配置したことで、新たに採用した用務スタッフに仕事の内容を

伝えたり、洗濯を戻す場所、利用者の部屋等を丁寧に教えることができ、育成体制も充実しました。また、介護職員も用務スタッフにお願したいことがあった場合に、誰に伝えればよいのかが明確になったことで、スムーズに情報伝達・情報共有ができ、予想以上の効率化を図ることができました。

## 3 余裕を生み出す

### 用務チームの維持で笑顔あふれる職場へ

最近では、用務スタッフも仕事に慣れ、働く時間を延長したいという申し出もありました。勤務時間が長くなったことで、今まで誰の業務でもなかった倉庫の整理整頓・利用者さんの衣類の補修、名札つけ、花壇の手入れ、レクリエーションに使用する材料の準備などの業務にも自主的に取り組んでくれ、当初の見込み以上に介護職員の負担が軽減しました。

これにより、介護職員はミーティングに時間を十分に取ることができたり、スキルアップの

為の研修会の開催、利用者とお話を楽しむなど、今までできなかったことができるようになり、介護現場に時間的・精神的余裕が生まれてきました。それ以外にも、有給休暇の取得促進など働き方改革の促進にもつながり、職場にも明るい雰囲気に戻ってきました。



余裕をもって会議を行えるようになった



用務スタッフによって整頓された倉庫

## 職員の声

● 私は今年度から用務スタッフのリーダーとして働いています。当初、新しい用務スタッフの方は仕事を覚えるのに苦労していましたが、今では作業の間違えもなく、自分から進んで作業を探して取り組んでいます。

(用務スタッフリーダー 佐川さん)

● リーダーが介護職員と用務スタッフの間に入っているおかげで、何かあればリーダーに相談するという形ができて、用務スタッフとも連携を取ることができるようになりました。用務スタッフの方も一生懸命仕事をしており、介護職員も触発されています。

(介護職員 永山さん)

● 佐川さんを入れた用務スタッフ5人で手が空いたら他のスタッフの手伝いに行ったりなどお互いサポートしながら業務にあたっています。毎日楽しく働いています。

(用務スタッフ 本田さん)

# 介護助手の採用でゆとりを創出 誰もが働きやすい職場へ変身



介護助手が得意分野を発揮して職員にゆとりが生まれた

## 株式会社リブレ 認知症対応型共同生活介護リブレ松川(福島市)



管理者 齋藤 恵

近年の介護職員不足や入所後の経年に伴う利用者さんの重症化に加え、感染症対策による業務の増加で、勤務時間内に日々の業務をこなすのが精いっぱいという状況が続いていました。

また、当事業所は複合施設ということもあり、職員の異動や入職も多く、新たにユニットに配属になった職員への教育は、日々の業務を行いつつながら伝えていくという状況でした。グループホームは食事・排泄・入浴などの介護業務以外にも、朝昼晩の食事作り、掃除・洗濯、買い物など様々な業務があり、ゆと

**職員の負担軽減で利用者さんとの関わりを目指す**

### 1 理想をかなえる改善

#### 課題解決へのステップ

ステップ

**1** 業務の増加により、  
職員のストレスがみられた

介護助手を採用し、  
ゆとりを生みだす

ステップ

**2** 業務を見直し役割分担

柔軟な対応、  
丁寧な人材育成が可能に

ステップ

**3** 個別ケアを充実させる

コミュニケーションの  
増加、明るい雰囲気

りのない毎日の中で、職員間のコミュニケーションや、利用者さん一人一人の気づきを共有する時間を取ることは難しく、精神的に孤立する職員や、ストレスを抱えている職員の姿がありました。

本来のグループホームのケアは、「利用者により寄り添った職員と共にイキイキと暮らしていく」というものですが、そこまでの余裕はない状況でした。



利用者により寄り添ったケアが施設の理想



2 介護助手の募集・採用

業務を見直し、役割を分担。人を活かす組織へ

今の状況を改善するため、行ったことは業務の見直しと、介護助手の採用です。業務の見直しは、現在の業務内容を全て書き出し、介護業務とそれ以外に分けることから始めました。その後、個別ケアの充実が図れるよう工夫しながら、早番・日勤・夜勤の業務を組み直しました。

介護助手の採用は、県の委託事業として福島県社会福祉協議会が行っている「介護職機能分化モデル事業」に参加し松川町内にチラシを配布しました。数日で問い合わせがあり、働ける時間やど



介護助手が調理に専念するので、利用者さんとレクリエーションを楽しめる

んなことをお手伝いいただけるか等の聞き取りを行い、介護助手の業務分担も同時に作成していきました。今までのすべての業務を1ユニット6名の職員で行い手一杯の状況でしたが、3名の介護助手を採用し、食事づくり・環境整備・レクリエーション補助等をお願いすることで、利用者さんへの個別対応や記録に充てる時間を作ることができました。

介護助手には昼食の準備、環境整備（手すりの消毒、清掃、リネン交換など）を担っていただくことで常勤職員にゆとりが生まれ、利用者さんと野菜の切り出しや下ごしらえを行ったり、その他にも利用者さんが「何か手伝いたい」という要望に柔軟に対応できるようにになりました。また、常

勤職員がフロアから離れ居室やトイレなどで介護を行っている際も、介護助手が話し相手をしてくれたり、見守りをしてくれることで安心して一人の利用者さんのケアに集中することができるようになりました。最近では、介護助手も仕事に慣れボタンの付けなどの裁縫や、割り当てられた業務以外にも自分のできることを探し、提案してくれ大変助けられています。

3 コミュニケーション活性化

明るい環境をつくり働きやすい職場へ

ことができるようになりました。調理が苦手だった若手職員に対し、前職が調理員だった方から料理の仕方を教わるなど、介護助手から教わることもたくさんあります。お互い相談できる職員がいつもそばにいるという環境が相乗効果を生んでいます。

介護助手の採用と業務の見直しを行ったことでゆとりが生まれ、職員の表情が柔らかくなると感じます。また、感染症対策により面会や外出が制限され利用者さんの生活の楽しみが少なくなっていました。介護助手の方が趣味のウクレレを披露してくれたり、話し相手になってくれることで、生活にハリが出てきたように感じます。



職員どうしで相談しやすくなり、チームワークも良くなった

また、時間にゆとりができたことで職員の育成も丁寧に行う

職員の声

● 介護助手として働き始め1年になります。前職を退職してからは家にいましたが、まだまだ社会参加をしたいとの思いがあり、介護助手の求人に応募しました。週3日、1日6時間パートで働いていきます。調理の仕事は長くやっていたので、ここでも食事づくりを主にしています。働くようになって生活にメリハリができ、利用者さんにおいしいと言ってもらえるとても嬉し

いです。

● (介護助手 安齋さん)  
以前は、日中職員が2人体制で介護と掃除や洗濯などの業務を行っており、余裕がない日がありました。今では介護助手が食事づくりや見守り、話し相手をしてくれるので、介護職員は介護に専念できるようになり、利用者さん一人一人とじっくり関わる時間をとることができるようになりました。

(介護職員 矢吹さん)

## 授賞式の様子

2021年11月11日（介護の日）に、第2回キラリふくしま介護賞授賞式を行いました。  
今回の授賞式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場には代表者のみの出席でしたが、他の受賞者の方もオンラインで参加されました。

内堀県知事より、日頃の業務への感謝と労いの言葉をいただき、代表受賞者に賞状と記念品が授与されました。

また、第2回キラリふくしま介護賞秦選考委員長からの講評のあと、受賞者代表より挨拶をいただきました。介護職員表彰代表受賞者の大竹真里さんから、「これからも利用者さんが笑顔で過ごしていただけるよう努めたい」、介護施設表彰代表受賞者の齋藤己義施設長から、「介護の楽しさややりがいを伝え、職員の働きやすい、働きがいのある職場作りに努めたい」と力強いお言葉をいただきました。

受賞された介護職員の皆様、受賞された施設・事業所の皆様、おめでとうございます！



左から、秦選考委員長、介護職員表彰代表受賞者 特別養護老人ホームさぎそう 大竹 真里さん、内堀県知事、介護施設表彰代表受賞者 特別養護老人ホームしょうぶ苑 施設長 齋藤 己義さん







施設長より賞状と記念品の伝達をしました



利用者さんに着付けをしてもらいオンラインで参加しました



緊張した様子でオンラインで参加しました



スーツを着てオンラインで参加しました

〈令和3年度募集ポスター〉



受賞者は今後一年間、県内で介護の仕事PR大使として活動します。(活動は任意)



代表受賞者以外の受賞者に対し、オンラインで配信しました



会場に設置されたスクリーン

---

## 第2回キラリふくしま介護賞 受賞者紹介

発行 令和4年3月

発行者 福島県保健福祉部社会福祉課  
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号  
TEL 024-521-7322 FAX 024-521-7917

制作 一般社団法人福島県老人福祉施設協議会

---